



【卓球】 世界選手権大会



女子シングルス3位 平野美宇

【平野さん(日本卓球協会HPより)】

2017年世界卓球選手権大会が5月29日から6月5日までデュッセルドルフ(ドイツ)で開催され、平野さんと張本君が日本代表として出場しました。世界卓球選手権は毎年開催されていますが、隔年で個人戦と団体戦が行なわれています。今年は個人戦で平野さんは女子シングルスと女子ダブルス、張本君は男子シングルスに出場しました。

女子シングルスで平野さんは、1回戦から4回戦まで順調に勝ち上がりました。準々決勝でロンドン五輪銅メダルのフェン・ティアンウェイ(シンガポール)との対戦になりましたが、4-0で快勝。準決勝では、世界ランク1位でリオデジャネイロ五輪金メダルの丁寧(中国)に1-4で敗れたものの銅メダルを獲得しました。女子シングルスでのメダル獲得は、1969年のミュンヘン大会以来48年ぶりの快挙です。平野さんの女子ダブルスでは、石川選手とペアを組んで出場しましたが、3回戦で優勝した丁寧・劉詩雯(中国)ペアに0-4で敗れました。

男子シングルスに出場した張本君は、2回戦でリオデジャネイロ五輪銅メダルの水谷選手を4-1で破るなどの活躍を見せ、史上最年少で準々決勝進出を果たしました。準々決勝では世界ランキング3位の許昕(中国)との対戦となりました。第2ゲームは勝利しましたが、その後3ゲームを取られ1-4で敗れました。

平野さんと張本君の活躍は、卓球界だけでなく日本全国で大きな話題となり、JOCエリートアカデミーの名も一躍有名になりました。日本代表として大きなプレッシャーの掛かる世界選手権で素晴らしい結果を残したことは大きな成果であり、今後に繋げ飛躍してくれることを期待しています。

【レスリング】 全日本選抜選手権大会

平成29年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会が6月16日から18日までの3日間、国立代々木競技場第二体育館で開催されました。

この大会は昨年12月天皇杯全日本選手権大会の結果と合わせての世界選手権日本代表選考も兼ねた大会です。

女子55kgに出場した南條さんは、全日本チャンピオンとしてこの大会に臨みましたが、初戦で果敢に攻めるも決定打に欠けて今大会の優勝者に惜しくも敗退しました。

48kgに出場した須崎さんも、全日本チャンピオンとしてこの大会に臨みました。2回戦から出場し、社会人の強豪選手と対戦し1分49秒でテクニカルフォール勝ち。準決勝では一昨年の明治杯決勝で敗れた相手との対戦し、練習の成果が実り2-1の判定勝ち。決勝は大学生の強豪選手と対戦となり3-0で判定勝ちし優勝を果たしました。今回の優勝は、大会前に課題修正に取り組んだ成果によるものです。

70kgに出場した鏡さんは、最年少初出場ながら初戦は大学生に4-0で判定勝ちを収めました。準決勝では昨年インターハイチャンピオンと対戦をして、最後まで同点という接戦でしたが、ラスト1秒で相手の押しに耐えられず、ポイントを取られて逆転負けを喫しました。今回の反省をこれからの競技生活に活かして欲しいと思います。

修了生も活躍をし、女子53kg級決勝戦では向田さん(至学館大学)と宮原さん(博報堂DY)の修了生対決となり、向田さんが優勝を果たしました。また、白井君、古市さん(日本大学)は決勝戦で敗れて惜しくも2位となりました。JOCエリートアカデミーは2008年に開校して10年目を向かえ、アカデミー生全体での育成強化の成果が開花し始めており、今後の活躍が期待されます。



【須崎さん(左)日本レスリング協会HPより】

【ライフル射撃】 世界ジュニア選手権大会

第1回世界ジュニアライフル射撃選手権大会が6月22日から29日までズール(ドイツ)で開催されました。この大会はジュニアの世界大会として初めて開催された大会で、JOCエリートアカデミーからは清水君と上田さんが日本代表として出場しました。

清水君は男子10mエアライフルに出場しました。競技は本選(予選)と予選の上位8名によるファイナル(決勝)という形式で行なわれました。本選は1シリーズ10発を6シリーズ行ない合計60発の得点を競います。清水君は第3シリーズまでは安定した射撃でファイナル進出も狙える順位につけていましたが、第4シリーズで記録が伸びず、100点に留まったため、621.1点で20位(102名中)という結果に終わりました。

一方、国別の3名の選手の総得点で争う団体戦では、1873.4点の世界ジュニア新記録を樹立し、優勝を果たしました。これは清水の後半の頑張りが大きく影響し、2位の中国とその差「0.1」というわずかな得点差で優勝を果たすことができました。中国、ロシア、ヨーロッパ諸国の強豪国を含む27カ国が出場した中で、強豪国を上回っての金メダル獲得したことは、日本ライフル射撃界にとっても価値ある結果であり、今後に繋がるものとなりました。

女子10mエアピストルに出場した上田さんは、第1ステージ中盤で銃の不具合が発生し、競技を一時中断することとなった。その後、持ち直したが、トータル352点で100位(107名中)という結果でした。

(清水彰人君コメント)

「最後の1発まで攻める射撃が出来た。最終シリーズでチームに貢献できて良かった。攻めの気持ちが勝つことに繋がることを実感した。今後も目標を高く設定し挑んでいきたい。」



【清水君(中央)】

ヴィクトリープログラム (教育プログラム)

JOCエリートアカデミーでは、ヴィクトリープログラム(知識や技能の定着を目指し定期的・継続的に実施する「継続型」と、アスリートとしての心構えやチームJOCエリートアカデミーとしての意識を高めるため単発的に行う「単発型」の2軸からなる教育プログラム)を実施しています。

■継続型プログラム

6月から、次の4つの継続型プログラムが開始されました。

- ・言語教育 中学生を対象として「読む」「書く」「話す」「聞く」スキルアップを図る
- ・言語技術 高校生を対象として論理的な思考力や表現力を身につける
- ・英会話 英会話のスキルアップを図ると共に国際感覚を養う
- ・学習会 基礎学力の定着を図る

■単発型プログラム

第1回栄養教育が6月25日に開催され、8名が参加しました。このプログラムは栄養についての意識や食事(調理)についての興味関心を高めること目的としており、今回は「調理の基本を学ぶこと」をテーマとし、包丁の扱い方や野菜の切り方を中心に実施しました。同じ食材でも切り方を変えるだけで主菜や主食、味噌汁など様々なメニューに展開できることを学びました。

メニューは鶏の照焼、鶏五目ご飯、具沢山味噌汁。食材ごとに担当を決め、鶏五目ご飯と具沢山味噌汁は皆で調理、鶏の照焼はひとりずつ焼くことに挑戦しました。SAKURA Dining調理師による実演もあり、アカデミー生にとって良い経験となりました。「また、次回もやってみたい」「いろんな料理に挑戦したい」などの感想がありました。



【調理の様子】

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>

《編集後記》

TVをみていると毎日のようにJOCエリートアカデミー生が出てくる。注目されることは良いことだ。プレッシャーをかけられる中で練習をすることでさらに強くなれるはず。頑張り！編集担当・I

公益財団法人 日本オリンピック委員会
JOCエリートアカデミー事業
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
味の素ナショナルトレーニングセンター
TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356